

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.8

令和4年6月23日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>



相手に届く言葉かけ ～心に響いてこそ～

私は、小さい頃からクルマが大好きで、畳のヘリを道路に見立ててミニカーを「ブ～ン」と言いながら走らせていました。プラモデルも専ら自動車でした。そんな私は19歳で運転免許を取って、父の車を我がもの顔で使っていた時から早42年。今も運転が大好きですが、最近やっと穏やかな運転になってきたような気がします。

春から秋にかけてのシーズン、湖が見えて自然豊かな山岳道路は、最高のドライブコースといえます。特に、カーブが多い場所はバイク乗りにとっても絶好のツーリングスポット。でも、そうした場所には「事故多発場所注意」「スピード落とせ」の看板が乱立することが多くあります。実際、ライダーがスピードを出しすぎてカーブを曲がれずに、けが人が出る事故が多発するといえます。某警察署管内では、こうした看板を立てて注意を促しても事故は一向に減らず、担当者は頭を抱えていました。悩んだ末、ある言葉を書いた看板に据え替えました。これまでどんな注意の言葉も届かなかったのに、この看板設置後は安全運転に変わり事故が無くなったそうです。一体どんなものだったのでしょうか？

実は、『ケガをしますと、病院に収容されるまでに約2時間かかります』と書いただけなのです。ただあまりにも具体的で、痛みをこらえて2時間も山道を救急車で揺られている自分を想像してしまいます。また、別の場所では等身大の警察官の姿を看板にしたのですが、こちらも効果てきめんだったそうです。

正論やわかりきったことだけを相手に訴えても、心が動かなければ何ら変わりません。伝え方次第では人の行動や印象がガラリと変わることがよくわかります。耳にタコができるくらい繰り返す言葉や指導も大事ですが、一方では心にいかに響かせるかで効果や持続度も違います。教室や家庭、会社での言葉かけも同じだと思います。



優しい嘘

トーマス・エジソンは、だれもが知っている『発明王』です。

エジソンが八歳の時、学校の先生から一通の手紙を受け取りました。

「先生から、お母さんにだけ見せるように言われたんだ」と、エジソンはその手紙をお母さんに手渡ししました。

その手紙を読んだ母親は、涙が止まりませんでした。

「すごいわ！この手紙には……。」と読んで読んでくれました。

『あなたの息子は天才です。我が校には、彼を教えられる立派な先生がいません。お母さんが、息子さんの先生になってあげてくれませんか？』と書いてあるの。」

エジソンは喜び、それからは母と図書館で勉強をするようになりました。そして、その数十年後に、彼は偉大な発明家になります。

時が経って、母親が亡くなった後に遺品を整理していると、その手紙を見つけてきました。エジソンは懐かしく思っ

て広げてみると、そこにはこう書いてあったのです。

『あなたの息子は、精神障害です。これ以上、学校には来ないでください。』

エジソンは何時間も泣いたのち、日記にこう綴りました。

「トーマス・エジソンは、精神障害の子供でしたが、彼の母が世紀の発明家にしてくれました。」



7月

- 学校徴収金引落日 7月1日
- 学校給食費引落日 7月末日

※丸数字は学年です

教育課程の一部変更について

外部講師を招いて授業研究会を実施しますので、7日(木)・13日(水)・14日(木)の3日間は、全学年が14時半頃下校です。また、クラブ活動第2回目は月曜実施です。

1	金	放送集会、まなびくらぶ④	14	木	授業研⑥(全校5校時日課)
5	火	まなびくらぶ③	15	金	給食最終日
6	水	委員会、P実行委、スクールカウンセラー	19	火	勾玉づくり⑥、4校時日課(下12:00)
7	木	たんぼぼ授業研(全校5校時日課)	20	水	終業式、3校時日課(下11:00)
8	金	校外学習⑥、まなびくらぶ④	21	木	夏季休業開始、個人面談(~29日)
9	土	PTA資源回収	夏季休業が始まって数日間、まなびくらぶを実施します		
11	月	学校運営協議会、クラブ	8/6(土)~15(月) 土日祝を含め、無人化期間		
13	水	授業研②(全校5校時日課)			

運動会川柳

運動会から早ひと月が過ぎようとしています。校長のブログで、運動会川柳を募集したところ、三句届きましたので紹介します。三句しか?いえ、三句も!です。ありがとうございます。

運動会 応援したいな 大声で(一年生)
先生の 安堵と日焼けの 顔眩し(Y)
徒競走 ビリでも 笑顔は 一等賞(Y)



学校プールで捕獲したヤゴ。

二年生が大切に育てています。

♡いじめ防止などに向けて♡



学校も行政機関も、いじめ防止に向けて基本方針を定めて取り組んでいます。しかし、残念なことにいじめを苦にした自殺等の報道がなくなることはありません。

本校でも、「いじめはどの子供にも起こりうる、どの子供も被害者や加害者になりうる」という認識の下、教職員みんなで未然防止に取り組んでいます。学級指導や道徳、総合的な学習の時間など、人権教育とも関連させて実践しているところです。いじめだけでなく、困っていることや悩んでいること、心配事など、早め早めに担任や相談窓口伝えてもらって、早期発見・早期解決できることを願っています。

『君の臍臓を食べたい』(住野よる 著)に、“言葉は往々にして、発信した方ではなく、受信した方の感受性に意味の全てがゆだねられている”という文章があります。言葉も大事にしたいと思います。

本校では、年間3回(6, 10, 1月)の質問紙によるアンケートを実施して、児童との個別面接を行っています。また、通級指導教室前とゆとりぎ教室前にポストを常設して、手紙での相談にも応じています。又、保護者からの相談希望も受け付けています。

誰もが安心して通える、通わせられる学校を目指しています。